

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	文学研究科
大項目	7 国際交流 (研究科)
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流 (国内外における教育研究交流) についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流 (国内外における教育研究交流) を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況 (院)

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 国際性を活かした研究教育システムを確立する。	→国際化社会に対応したカリキュラム編成、海外の学会発表数、海外の研究者との共同研究への参加数、海外研修会への参加数。	B	B	B		
2. 博士課程後期課程大学院生の海外における研究活動の活発化を図る。	→本学大学院海外研究助成金制度の申請者数。	B	B	B		
3. 海外からの研究者の受け入、および専任教員の海外派遣を促進する。	→海外からの研究者の受け入れ数、専任教員の海外派遣数。	B	C	B		
4. 外国語を母語とする専任教員を雇用する。	→外国語を母語とする専任教員数。	B	B	B		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	総合心理学専攻が大学院GP「国際化社会に貢献する心理学実践家の養成」の課題を遂行するかたちで国際性を活かした研究教育システムを構築しつつある。2011年度における同専攻の国際学会・海外施設見学派遣数は27件、海外グループ研修派遣は3件の実績を残した。
目標2	11の領域をもつ文学研究科において、その学問的な性格上、海外における研究活動を重視する傾向にある領域の院生を中心にしている。例えば、学会発表や資料調査を目的として海外に向かうケースは活発化しつつある。2011年度の本学大学院海外研究助成金制度の採択者数は3名で、支給総額は485,000円であった。
☆ 目標3	2011年度の海外からの受け入れ学生数は正規学生が3名、交換学生が1名でほぼ例年通りである。一方の派遣学生数は2011年度において初めて1名の対象者が出た。また海外への派遣教員は1名で、国際交流基金派遣教員として北京日本学センターへ出講した。
目標4	2012年度に外国語を母語とする教員の新たな着任はなかったが、文学言語学専攻での昇任人事として外国語を母語とする教員1名が前期課程指導教授に就いた(2011年度内における人事)。
備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【文学研究科】			単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	—	—	—	—	—	—		
指標2	国際交流協定締結国数		国	—	—	—	—	—	—		
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—	累計数	
		外国人留学生	正規	人	6	5	4	4	3	3	・※5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・特別学生を含む
			交換	人	4	2	1	1	1		・累計数 ・交換は正規以外とする。 ・大学院短期留学を含む
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	3.2	2.7	2.4	2.4	1.9	1.8	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	2.1	1.0	0.6	0.6	0.6		
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	—	—	—	—	—	—				
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—	累計数	
		人数	長期	人	0	0	0	0	1		・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6		海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
指標5	海外からの受け入れ教員数									・累計数 ・1年間以上を「長期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	—	—	—	0	0		・累計数 ・春・秋の合計	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)